

あけびま かなた

2015



vol.146

3



はいっポーズ!

《置戸地区・幸岡》

鈴木美沙さんと大拙^{だいせつ}くん

(紹介は2ページです)

特集

●新たな10年への第1歩

組合員三組織 第11回通常総代会終える



玉葱の播種

季節の薫り



時折暖かな春のひざしが差し込むも、依然寒さが厳しい2月中旬、日本一の玉葱産地のきたみらい管内で一斉に播種作業が始まった。

8月からの出荷目標を立て、極早生、早生、中晩性と播種日をずらし、約1ヵ月間、種まきと伏せ込み作業が続く。朝夕の冷え込みを考慮し、2重、3重の被覆材をかけ、生育が均一となるように毎日の温度管理や水管理が行われる。

こうした生産者の努力の積み重ねによって、気象変動の激しい昨今、「干ばつや豪雨に負けない、高品質で安定した収量を心掛けたい」という意気込みが伝わってくる。
(高田 陽介)

写真：2月18日、北見市大和の米森裕之さんのハウスで撮影。米森さんは3月10日までに1万4千枚のポットに播種、伏せ込みを行い、20%を作付けする予定です。
2月24日には後継者の淳史さん夫妻に長男の慶史(けいじ)くんが生まれ、家族が増えたのでより一層頑張りたいと話す淳史さん。
なお、JAきたみらい管内の作付予定面積は4,582㌥で、生産量約25万トンを見込んでいる。

もくじ CONTENTS

特集①	4
新たな10年への第一歩 組合員三組織 第11回通常総代会終える	
○季節の薫り	2
○表紙紹介 「健康に育って」	2
○JAきたみらい ホットライン東西南北	6
○ほのぼのの広場	10
・きたみらいのホープさん ・なかよし夫婦 ・わが家のアイドル ・ブリティーウーマン ・大きくなったら ・元気な先輩 ・思い出の写真 ・まちがいがさし ・読者の声	
○JAからのお知らせ	14
○おひさまサラダクッキング 「テンペのステーキ丼」 「カブと青のりのスープ」	18

表紙紹介

「健康に育って」

寒さの厳しい2月21日、鈴木さん宅を訪ねるとお母さんの美沙さんと一緒に大拙くんが笑顔で迎えてくれました。
大拙くんは、最近おうちをやったきたばねのついたオモチャがお気に入り。乗せるとこきげんでひたひたで遊んでくれるおかげで、お母さんの育事がとっても楽になったそう。
取材中、くすぐることもなく終始おとなしかった大拙くん。人前だとよそよそしい顔で良い子にしているんだとか。しかし、夜は一度泣きはじると泣き止まないように、「根性があるのかも」とお母さんはちょっとびり大変なようです。
そんな大拙くんのお友だちはおさるのジョージのぬいぐるみ。目の前で動かすと声を上げて喜んでいました。
あまり見慣れない「大拙」という名前を命名したのはおじいちゃん(純一さん)で、仏教哲学者「鈴木大拙」からとって名付けたそう。まずは体が健康であるのが一番」とご家族みなさんで温かく成長を見守っていました。
(石井 睦美)



【ご家族紹介】
左から～おばあちゃんの千鶴さん(60)とお母さんの美沙さん(29)、長男の大拙くん(6ヶ月)おじいちゃんの純一さん(61)お父さんの剛三さん(31)はお仕事の関係で不在。残念ながら4人での撮影となりました。
鈴木さんは、小麦、小豆、てん菜、馬鈴しょなど約26%を作付けしています

特集

平成27年度

新たな10年への第一歩

JAきたみらい青年部・女性部・フレミズ
第11回通常総代会終える

昨年度、設立10周年を迎えた三組織。記念式典も皆様の盛会の中に終えることが出来ました。JA全体のエリア構想が進み、併せて組織検討会でも各組織で今後の進むべき道を模索し、熱心に協議しています。そのようななか、支部活動から本部活動、そして支部を越えた交流を計画しており、少しずつ変化する三組織が新たな一歩を踏み出します。
(丸山 恵理)

青年部

部員の更なる結束を



▲代議員56人が出席して開かれた第11回通常総代会

JAきたみらい青年部は2月18日、センター事務所第11回通常総代会を開き、代議員56人が出席しました。開会挨拶で米森弘部長は「青年部は様々な諸問題に対し、責任と使命を持って意欲的に取り組み、地域農業の振興に努めたい」と、地域農業の振興への参画に触れ、部員の更なる結束を呼び掛けました。

これに答え、JAの大坪常務は「次の時代を担う若い世代が積極的に農業に取り組める環境を整えたい」とエールを送りました。



▲議長を務めた置戸支部の安西良樹部員、訓子府支部の大塚陽太郎部員（左から）

新年度事業では、エリア内交流活動、パートナー対策事業の実施などが承認され、新部長に選出された坂下部長は「当青年部は約300名の部員がいるが、組織が大きくなると誰かがやるだろうと思いがち。しかし、300名いれば300通りの意見があるはず。皆さんの積極的な参画をお願いしたい」と挨拶しました。



▲激励と祝辞を述べる大坪常務



▲新任挨拶を行う坂下部長、小林副部長、佐々木副部長（左から）

- 新役員体制
- 部長 坂下 修一（留辺薬）
 - 副部長 小林 章三（端野）
 - 西支部 佐々木利治（訓子府）
 - 置戸支部 福田 政行
 - 訓子府支部 伊東 憲一
 - 北見支部 高城 耕一
 - 端野支部 中野 洋介

女性部

女性の声を大にして

JAきたみらい女性部は2月18日、センター事務所第11回通常総代会を開き、代議員40人が出席しました。開会挨拶で齊藤のり子部長は、26年度事業の行動、実践活動への取り組みに部員へ感謝の意を表すとともに、「現在取りざたされている農協改革や環太平洋連携協定（TPP）交渉に対しては、私たちの営農と生活を左右する問題であり、女性も声を大にすべき」と力説しました。

来賓の坂下専務は「10周年事業も盛会の中に終えられ、その10年にはたくさんのお出合いがあったことと思う。また、新たな10年に向かって進んでほしい」と挨拶されました。また農業協同組合新聞（JAcom）の一文を紹介し「女性のエネルギーは日々の暮らしの中から生まれてくるもの。母ちゃんが太陽みたいな家は安定している」と女性のパワーに敬意を表しました。

また、総代会終了後には、昨年11月に実施した四国（高知県）農業視察研修について参加部員より報告があったほか、初の試みとして当JA営農振興部部長による学習会を開き、協同組合論やJA運営のあり方を学びました。

新役員体制

- 部長 齊藤のり子（置戸）
- 副部長 山梨 則子（温根湯）
- 温根湯支部 永江 美貴子
- 留辺薬支部 武田 志津子
- 相内支部 林 秀子
- 置戸支部 嘉藤 常子
- 訓子府支部 中山 町子
- 上常呂支部 山本 純子
- 北見支部 佐伯 真由美
- 端野支部 植村 礼子

※ホークJJA女性協賛

フレミズ

新たな可能性を広げて

JAきたみらいフレミズは2月20日、センター事務所第11回通常総代会を開き、代議員30人が出席しました。

開会挨拶で坂下会長は「新事業はどれも盛会の中に終わり、未加入者への積極的な働きかけで、新しい会員も増えた。それも会員皆様のご尽力のお陰です」と感謝の意を述べました。

来賓の坂下専務は「設立からの10年はいろんなお出合いがあり、仲間ができて、励みあって歩んだ10年だったと思う。これからまた新たな気持ちで進んで行ってほしい」と挨拶。

齊藤女性部長からは「お互い部員減少が悩みですが、運動会への体験入会の取り組みには感心した。是非



▲新任挨拶を行う大丸副会長、西島会長、森脇副会長（左から）

- 新役員体制
- 会長 西島 由華（北見）
 - 副会長 大丸美喜子（上常呂）
 - 温根湯支部 森脇 由記（置戸）
 - 留辺薬支部 大原 美雪
 - 相内支部 橘 美咲
 - 置戸支部 水野 美香
 - 訓子府支部 小林 由紀子
 - 上常呂支部 安西 由紀子
 - 北見支部 米森 絵里香
 - 端野支部 五十嵐 里香

また、総代会終了後には、昨年11月に実施した国内（静岡県・神奈川県）農業視察研修についての報告があったほか、女性部同様に学習会を開き、協同組合論やJA運営のあり方について学びました。

女性部でも参考にしたい」とお互いの発展への希望を込め、お祝いの言葉を送りました。

新年度事業には、昨年同様の学習会などのほかに、支部再編に向けた取り組みとして、エリア単位での視察研修などを計画。変化するフレミズとしては大事な一年となります。

役員改選では、新会長に西島由華さん（北見支部）、副会長に大丸美喜子さん（上常呂支部）、森脇由記さん（置戸支部）が選出され、新会長の西島さんは「エリア単位による新たな出合いを会員一人ひとりが楽しみ、そこから新たな可能性を広げていくよう尽力していきたい」と意気込みを述べました。



東 西



南 北



温根湯

例年より早く 播種作業開始

～玉葱全自動移植機 運営協議会～



▲機械に土を入れる水野さん

今年、約13畝の玉葱の作付けを予定している水野さんは、「今年はハウスの乾きも良かったため、例年よりもやや早く播種作業を始めた。昨年の後半は苗の健苗率が低く感じたが、今年は期待できそう」と明るく話してくれ、幸先の良いスタートが切れたことを感じました。

この玉葱播種作業には4台の機械を効率よく使い、3月の下旬まで行われる予定です。

(丸山 恵理)

温根湯玉葱全自動移植機運営協議会(永江和幸会長)は、2月18日から玉葱の播種作業を開始しました。

同協議会には、温根湯地区の玉葱作付けを行う28戸中19戸が所属しており、この日は副会長の水野倫明さんが播種作業を行っていました。

水野さんは、約半日で「北もみじ2000」の約3・5畝分となる、2450枚を播種。播種された育苗ポットは、ハウスに伏せこみ作業が行われ、春の植え付けの日を待ちます。

相内

会員加入を 呼び掛ける

～年金友の会、総会と 2泊3日の温泉保養～



▲開会挨拶をする中川会長と役員のみなさん

JAきたみらい相内平金友の会(中川強会長)は、2月17日、温根湯ホテルで2泊3日の温泉保養を兼ね、第27回通常総会を行い、会員47人が出席しました。

開会の挨拶に立った中川会長は「会員が年々減少しております。会員の親睦と健康で生きがいのある、明るく楽しい生活を送るためにも、会員数を増やし輪を広げていきたい」と参加者に呼び掛けました。

総会では26年度収支決算報告や道外旅行などが盛り込まれた27年度の事業計画、予算案などの議案を提出、出席者全員の承認を得て可決決定しました。

終了後は、温泉で体の疲れを癒し、懇親会では、西地域運営委員長も加わり、参加者全員で親睦を深め、楽しい3日間を過ごしました。

(梅澤 大)

JAきたみらい相内支店・年金友の会(中川強会長)は、2月17日、温根湯ホテルで2泊3日の温泉保養を兼ね、第27回通常総会を行い、会員47人が出席しました。

開会の挨拶に立った中川会長は「会員が年々減少しております。会員の親睦と健康で生きがいのある、明るく楽しい生活を送るためにも、会員数を増やし輪を広げていきたい」と参加者に呼び掛けました。

総会では26年度収支決算報告や道外旅行などが盛り込まれた27年度の事業計画、予算案などの議案を提出、出席者全員の承認を得て可決決定しました。

終了後は、温泉で体の疲れを癒し、懇親会では、西地域運営委員長も加わり、参加者全員で親睦を深め、楽しい3日間を過ごしました。

(梅澤 大)



▲講師の話に耳を傾ける参加者

良質玉葱 生産誓う

～上常呂玉葱振興会 第53回通常総会～

上常呂

また、同振興会青年部(木村憲幸部長)がリン酸液肥を用いた栽培試験の結果を発表。「効果を発揮するためには定植後の施肥管理が重要」と述べました。

総会では、穴田会長が「良質な玉葱を出荷できたのは、皆さんの努力のたまもの。今後とも変わらぬ努力をお願いしたい」と挨拶。一部議案について質疑応答が交わされたのち、すべての議案が承認されたの一年に向けて決意を新たにしました。

(埴山 里子)

上常呂玉葱振興会(穴田惣一会長)は2月10日、上常呂地区事務所内で玉葱講習会と第53回通常総会を行い、会員や職員など、あわせて32人が参加しました。

総会に先立ち行われた講習会では、網走農業改良普及センターとホクレン農業総合研究所からそれぞれ講師を招き、道内でも発生の拡大が懸念されるハモグリバエ類の防除や土づくりについて学習しました。

置戸

JA運営に 女性の声を

～地区別懇談会で 活発な意見交換～



▲積極的に意見を述べる渡邊美和さん

2月10日、置戸町中央公民館にて冬期地区別懇談会が行われ、58人の組合員が出席しました。そのうち、女性の出席者は8人で、女性ならではの意見が積極的に出されました。質疑応答のなかで川南の渡邊美和さんは「きたほなみを使ったうどんが販売されるが、きたみらい産の小麦粉そのものを販売してほしい」「フエイブックなどを通してPR販売するのはどうか」と提案されました。

また、幸岡の井上幸恵さんは「置戸は地産地消の取り組みが活発だが、個人で食材提供などに対応するのは難しい。JAとして何か取り組んでほしい」と訴えました。

そのほか、食の安心・安全に力をいれて欲しいと求める声も上がるなど、子育てに励む母親として、消費者側の意見も交えながら発言する姿が見受けられました。

(石井 睦美)

2月10日、置戸町中央公民館にて冬期地区別懇談会が行われ、58人の組合員が出席しました。そのうち、女性の出席者は8人で、女性ならではの意見が積極的に出されました。質疑応答のなかで川南の渡邊美和さんは「きたほなみを使ったうどんが販売されるが、きたみらい産の小麦粉そのものを販売してほしい」「フエイブックなどを通してPR販売するのはどうか」と提案されました。

また、幸岡の井上幸恵さんは「置戸は地産地消の取り組みが活発だが、個人で食材提供などに対応するのは難しい。JAとして何か取り組んでほしい」と訴えました。

そのほか、食の安心・安全に力をいれて欲しいと求める声も上がるなど、子育てに励む母親として、消費者側の意見も交えながら発言する姿が見受けられました。

(石井 睦美)

端野

よりよい小麦をめざし

～良質小麦安定生産技術講習会～



▲麦の栽培法について講演する荒木英晴専門普及指導員



北見地区米麦改良協会は2月25日、端野町公民館グリーンホールで「平成26年度良質小麦安定生産技術講習会」を開き、オホーツク管内から生産者やJA職員ら167人が参加しました。

講習会では26年産麦類の栽培、生産、品質状況を検証。あわせて小麦を巡る販売情勢について把握しました。

網走農業改良普及センターの荒木英晴専門普及指導員は「ムギの作物生理からみた栽培法の再点検」と題して麦の分けつに必要な条件について説明。分けつ出現時期と穂形成による収量の関係から、越冬前に頑健茎を多く確保することが重要とし「安定生産は適期播種と適正播種量が大事」と呼び掛けました。

参加者からは様々な質問が挙がり、熱心に耳を傾けていました。

(高田 陽介)

北見

種芋まもなく引き渡し

～北見市種芋部会～



▲種芋がセンサーで選別される様子を見学する参加者たち

北見市種芋部会（竹下雅英会長）は2月9日、種子馬鈴薯（種芋）の選果場巡回を行い、自らが生産した種芋の品質や選別状況を確認しました。当日は、26年産の種芋の選果が行われている置戸選果場と端野選果場、現品審査が行われている相内の青果物センターを巡回し、会員夫人を含めた13人が参加。参加者は、種芋がカメラ内蔵のセンサーで規格別に選別される様子などを興味深く見学しました。

竹下会長は、「26年産は小玉の種芋が多くできたので、27年の馬鈴薯生産者のニーズに十分応えられる」と期待を寄せました。

北見地区では10戸の生産者が男爵、とうや、トヨシロ、きたひめ、オホーツクチップ、コナフブキの種芋を作付けしています。26年産の種芋は、3月末から4月上旬にかけて27年の馬鈴薯生産者に引き渡されます。

(横田 佳織)

留辺蘂

毎年の活動を分析

～M-TAX簿記講習会～



▲確定申告に向けてパソコンを操作する会員のみなさん

瑞穂簿記グループ「M-TAX」（井上光夫会長）は2月25日、花園会館で簿記講習会を開き、会員12人が参加しました。同グループは、会員の簿記や税務に対する知識向上を目的として発足。

確定申告に向け講習会を開き、5回目の開催となった今回のテーマは肉用牛免税計算書の作成です。講師は、網走農業改良普及センターの直井美幸専門普及指導員。

今回の講習で本来の目標である経営分析を行い、収益性や安全性の指標を計算、さらに所得と家計費のバランスなどの分析を行う予定です。

井上会長は「会員は毎年の活動を通して分析にもなれてきている。今年は新たに部門ごとの収支を出し来年以降、将来の参考にしたい」と話してくれました。

(梅澤 大)

訓子府

ミニバレーで交流

～フレミズ恒例の「つどい」開催～



▲歓声、笑い声が上がり白熱した試合を魅せる会員のみなさん

フレッシュユミズ訓子府支部（安西由紀子会長）は2月13日、訓子府町スポーツセンターにて「つどい」を開催し、17人の会員が参加しました。

毎年、活動報告会終了後に行われる「つどい」ではミニバレーを行うのが恒例となっています。加入したばかりという人や地区が違ってなかなか会う機会がない人など、中には顔や名前を知らない会員同士もいますが、スポーツを通じ協力することで自然と仲を深めることができました。

アタックが決まると歓声、ボールがとれずに珍プレーとなると笑い声が上がります。試合は白熱。予定していたよりも試合数を増やし、会場は大いに盛り上がりました。

夜には歓迎会も行われ、新しくフレッシュに入会した仲間を囲みながら交流を深めました。

(石井 睦美)

わが家のアイドル



置戸地区・境野
中川 樹(いつき)くん(2歳)
桜(さくら)ちゃん(11か月)

機械博士と食いしん坊のお姫さま

中川家に毎日笑顔を運んでくれるのは樹くん、桜ちゃん兄妹。樹くんは機械が大好きで、まず手に取って紹介してくれたのが「モーターグレーター!」のミニチュア。作業機名もメーカー名もほとんど覚えてしまい、機械博士のよう。一番のお気に入り、お父さんの膝の上に乗って実際の作業を間近で体験したトラクター。これが機械にはまるきっかけになったとか。

桜ちゃんのご飯が至福のひと時。なんでも食べちゃう桜ちゃんは、お父さんお母さんが苦手なキュウリ、漬物、納豆もパクパク食べていきます。最近のお気に入りはお味噌汁。飲み干した後の「ふー」という吐息と満面の笑みがとっても幸せそう。そんな2人にご両親は、「元気で優しい子に育ってほしい。もうすぐ3人目も産まれるので、めんどろをみてくれるといいな」と話してくれました。(山内庸平)

置戸地区・境野の中川隆さん、美恵さん夫妻のお子さんです。

Pretty Woman ウーマン



今年は 本部三役として

置戸地区・豊住
森脇 由記さん(31歳)

今回はプレミス置戸支部の森脇さんに登場いただきました。

◆ご出身、ご自身の性格は?

出身は置戸町で、北見市内で働いていました。性格はおおざっぱで基本インドア派です。人と接するのは嫌いではないですが、人見知りなところがあります。

◆ご主人との出会いは?どんなご家庭ですか?

主人とは友人の紹介で知り合い、帯広での同棲を経て自然な流れで結婚しました。結婚した年の冬に置戸に引っ越し、翌年春に主人が就農し私の実家を継ぐことになりました。今は主人と娘2人家族で住んでおり、娘たちは元気がいいので賑やかな家庭です(^_^)

◆マイブームはなんですか?

ここ2年ほど音楽を聴くのにハマっていて、中でも「CREAM」がお気に入りです。帯広にライブを観に行くほど好きなのですが、周りの人に知っている人が少ないことが少し寂しいです。

◆組織活動で楽しい事、今後の抱負は?

プレミスの活動では、いろいろなどころに行ったり普段できないことがたくさんできて楽しいです。本部役員を務めたこの1年は本当に楽しい経験になりました。

今年は本部三役として、支部再編に向け、もっとみんなが楽しく交流できる活動をしていきたいと思っております!

(丸山 恵理)



沢山のことを 学んでいきたい!

相内地区・本沢
真田 翔麻さん(21歳)

(梅澤 大)

きたみらいの ホープさん

●趣味・特技は?

パソコンやインターネットです。

●好きな女性のタイプは何ですか?

優しい人がいいです。

●実際に農業で実感したことは?

思っていた以上に機械化が進んでいて、肉体労働はそれほど厳しくない感じです。

●今後の抱負は?

まだ経験や知識が少ないので、これから沢山のことを学んでいきたいです。

翔麻さんは畑作野菜複合経営の肇さん・真理子さん夫婦の長男で、就農して3年目になります。

Qお付き合いしたきっかけは?

知り合いが営む居酒屋にて出会いました。友だちとして交流しているうちに、お付き合いするようになりました。

Q休日の過ごし方は?

(理恵さんが海が好きなので)網走や紋別など海へドライブに出掛けることが多いです。

Q趣味は?

誠一さん……ゲーム(ドラゴンクエストに夢中です!)

理恵さん……DVD鑑賞(韓流ドラマに夢中です!)

Qこれからしたいことは?

家族でディズニーランドやシーに行きたいです。

Qお互いへの感謝の言葉

誠一さん……いつも美味しいごはんを作ってくれてありがとう。(太りました)

理恵さん……これからも身体に気をつけて、子どものためにも仕事を頑張ってください。

写真は娘の果凛ちゃんと一緒に撮影しました。

(横田 佳織)



ながよし夫婦

子どもたちと旅行に 行きたい

北見地区・豊地

吉田 誠一さん(39歳)
吉田 真理恵さん(38歳)

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



2月号クイズの当選者

2月号のまちがいさがしの答えは「1、5、7、8、10」でした。正解者72名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

()内は地区名

- ・稲田 雄介さん (温根湯)
- ・小野 真広さん (相内)
- ・平塚 真子さん (訓子府)
- ・合田まゆみさん (上常呂)
- ・米森 咲希さん (北見)
- ・三上 順子さん (温根湯)
- ・柏原 大樹さん (置戸)
- ・田中 正子さん (訓子府)
- ・阿部 佑子さん (北見)
- ・荒井 紀子さん (端野)

以上の方々には、トリトンなどで使える1000円分の商品券をプレゼントします。

応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、「JAきたみらい「塩だれ」と「白花豆ドレッシング」をプレゼントします。

元気な先輩

留辺薬地区・大富
えっこ
飯田 恵津子さん
(66歳)



「これからも無理しない程度に」

恵津子さんは留辺薬町瑞穂の出身で、お兄さんの酪農業を手伝っていました。ご主人とは、留辺薬町が農家のお嫁さんを紹介する活動をしており、それが縁でお見合いをして出会いました。そこからトントン拍子で進み、昭和46年に結婚。一男一女に恵まれました。

もともと畑作農家に嫁ぐのは嫌ではなかった恵津子さん。昔は玉葱の葉切りが手作業で、夜になると手がしびれ大変だったと話し、1日が終わるたびに、出面さんと励まし合いながら頑張っていたそうです。

最近の楽しみは、旅行やお友達と食事に行ったり、孫の部活動を観に行くこと。また、女性部の活動で習った、健康維持の運動を家で取りいれたりもしているそう。これからも無理しない程度に畑も手伝っていきたいと、前向きに話してくれました。

(丸山 恵理)

ほのぼのの広場

大きくなったら



端野地区・川向
みさと
間村 美里ちゃん(6歳)

アイス屋さん!?

大きくなったら、アイス屋さんをやってみたいです。

あとは、お洋服が好きなので、洋服屋さんにもなりたいなあ。

農家にもなって、ジャガイモやスイートコーンもつくってみたい!

間村直樹さんと絵美さん夫婦のお子さんです。将来の夢をたくさん話してくれました。弟の一輝くん思いの優しいお姉ちゃんです。

(横田 佳織)

思い出の写真

多くの趣味を持つ大澤賢太さんが今回選んでくれたのは、ミニ四駆のお写真。5年ほど前、ふとしたきっかけで生産者仲間6人とともに手を染め、勢いそのままに北見で開催された大会に出場した時のものです。

当日は、他参加者の本気っぷりに度肝を抜かれた面々ですが、己のマシンを走らせてみると、意外とイケることに気が付いてしまい、誰もがすぐに飽きると思っていたはずが、マシンのスピードは加速度的にダッシュ、情熱はレッツ&ゴー。

今ではメンバーが9人に増え、暇を見つけては集まり、限られたレギュレーション(規則)のなかで、シャーシ(車体)を選び、パーツ(部品)をセッティング(取付)、細かいクリアランス(空間)を調整していきます。1mm単位の調整で走り方が変わり、マシンを自分の理想へ近づけていく、とても心躍る繊細な作業なのです。

「生産者同士でもあまり集まる機会がなかったが、ミニ四駆を通じて上は39歳、下は23歳、同じ土俵で話ができるのが楽しい」とスピードへの妥協なき視線を送りながら、ミニ四駆の魅力を語ってくれました。

(山内 庸平)



▲2010年に北見で開催された大会で使用したマシンたち。中央で紺碧に輝くボディが大澤賢太さんの愛車です。

スピードのその先へ

訓子府地区・北栄
けんた
大澤 賢太さん(33歳)



今年今の冬は雪が多いですね。春が待ちどおしいです。

(訓子府地区 笠野 敏明さん)

ほんとですね。センターの駐車場も雪山がなくなりません…。これから暖かい日が続くといいですね♪

おおひさまサラダに知っている人がいるか探るのが楽しみです。

今月は弟が出たので嬉しかったです。

(訓子府地区 菅野 彩月さん)

まちがいさがし以外にも探す楽しさがあるんですね

(^^) 今度はぜひ彩月ちゃんの取材もさせてね!

冬冬期地区別懇談会が終わりました。

今年は大数の出席者でした。国で「農協改革」の議論がなされていることもあるかと思えます。

(置戸地区 仁木 義信さん)

地区別懇談会へのご出席ありがとうございます。これからも貴重なご意見お聞かせ下さい!

おおいこの間、秋の仕事が終わり家に入ったと思ったら、もう春の仕事の支度…早いですね。だから年をとるのも早いんですね(笑)

(温根湯地区 大関 博子さん)

年をとると1年1年早いですよね。しかし月日が経つのが早く感じるのは、それだけ日々が充実している証拠だと思います(^^)

INFORMATION

女性組織の絆を再確認

第34回オホーツクJA女性部研修大会・家の光大会・60周年記念式典

女性協主催 研修会に286人参加

オホーツクJA女性協は2月3日、4日の両日、網走湖荘にて「第34回オホーツクJA女性部研修大会・家の光大会」を開催し、オホーツク管内14JAから286人の女性部員、事務局が参加しました。当JA女性部からは本部役員ほか78人の部員が参加しました。

今年はオホーツク女性協の設立60周年の節目であり、記念式典も同時開催となりました。冒頭の挨拶で同協議会の馬淵陽子会長は「60年の絆を大事にし、オホーツクがより住み



▲開会挨拶を述べる馬淵会長

やすくなるよう力を合わせていきましよう」と呼び掛けました。

式典では来賓のオホーツク総合振興局森田良二局長、オホーツク組合長会長のJAこしみず佐藤正昭組合長、オホーツク青年協議会の小松友也会長が祝辞を述べ、女性組織が他の農業者や地域社会へ更なる刺激を与えてくれることを期待しました。また、歴代の同協議会長、副会長への感謝状贈呈も行われました。第10代会長を務めた栗崎民子さんは「JA女性部はみんなが心を寄せて集まる、細かい心遣いができる団体です」と自身の経験を思い返し、今後同女性協のすばらしさを引継いで欲しいと話しました。

式典終了後は、女性協役員やJA女性部役員などが一年間の取り組みを紹介。同女性協で理事を務める当JA女性部の黒須倫子副部長はJA全国女性大会の報告を行いました。



▲講演に聞き入る参加者のみなさん
 ぐり王国北海道「おなじみの森崎博之さんが「生きることは食べることだ」と題して講演を行いました。北海道の食の大切さを伝えるためには、まず自分が健康にならなければと食生活を変え、それによって生きることを見直すのに繋がったと話しました。

さらに森崎さんは、農家が食卓を応援する時代から消費者が農家を応援する時代が変わっていかなくてはならないとし、「活動を通して、北海道の食への物を応援しませんか」と提案している。生産者の努力や苦労を伝える、通訳のような気持ちで番組に取り組んでいる」と農業に対する思いを語りました。

ゆくゆくは「日本の農業の応援団長になりたい」と話した森崎さん。

「いい汗かこう孫と一緒に何か妖怪？」というタイトルで登場した相内支部は、お孫さんも大好きな「妖怪体操」を披露。仮装に工夫を凝らし、人気キャラクターの着ぐるみをはじめ、歌舞伎マスクをした不思議な妖怪まで勢ぞろい。ステージの前で一緒に踊りだす部員もあり、会場は一体となりました。

一方、留辺蘂支部はおそろいの衣装で登場。部員世代が小さい時にテレビで見ていた、親しみ深い「ひょっこりひょうたん島」を選曲。目を合わせながらカウントとり、息ひったりのパフォーマンスを披露。最後には「今年もガンバルぞー」と宮農への意気込みを横断幕で示し、会場から大きな拍手が送られました。

研修会2日目は「森崎博之のあ



▲表彰状を受けとる森谷支部長



▲妖怪になりきって踊る相内支部のみなさん

1日目の夜には今年初めて、全参加者が同じ会場に同じ、懇親会を行いました。懇親会場で行ったアトラクション発表には当JAから、相内支部と留辺蘂支部が参加しました。

食を大切に、生産者を支えていくという姿勢に参加者のみなさんは刺激を受けたようで、講演終了後会場は大きな拍手に包まれました。

閉会式では各JAの女性部から出品された作品展の表彰が行われました。当JAからは趣向を凝らした22点が出展され、フラワーハーモニー作品展で相内支部の花壇写真が優秀賞を受賞しました。

(石井 睦美)



▶フラワーハーモニー展で入賞した相内支部の「花壇写真展」



◀◀◀ JAきたみらい女性部から出品された作品の一部



▲出番を終えた留辺蘂支部のみなさん



▲ステージ終盤には足の踏み場もないほどのおひねりが!

INFORMATION

第1回 理事会報告

2月21日、午前9時30分より第1回定例理事会が開催され、報告事項14件、議決事項10件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】**
- ①監事監査報告（決算棚卸、自己査定・クミカン精算状況、資材店舗移管棚卸）について
 - ②平成27年度監事監査計画について
 - ③内部監査報告（自己査定・決算処理）について
 - ④平成26年度内部監査業務活動報告について
 - ⑤組合員状況報告について
 - ⑥地区別懇談会の実施報告について
 - ⑦平成26年度資産査定結果について
 - ⑧1億円を超える信用の供与等の状況報告について
 - ⑨反社会的勢力等との取引排除及び組織犯罪の防止に係る対応状況について
 - ⑩平成26年度対策農家の収支実績報告について
 - ⑪平成27年度信用基準による階層区分の設定及び指導区分の変更並びに対策農家選定について
 - ⑫議会に対する農協関係法制度の見直しに関する意見書の提出依頼について
 - ⑬平成26年度産共計玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について
 - ⑭平成26年度産てん菜本精算について

- 【議決事項】**
- ①出資減口及び持分譲渡について
 - ②諸規程の制定及び改正について
 - ③北海道条例検査指摘事項に係る改善状況報告について
 - ④税効果積立金の取崩について
 - ⑤平成27年度コンプライアンスプログラムの制定について
 - ⑥平成28年度職員採用計画について
 - ⑦平成27年度余裕金の運用について
 - ⑧平成27年度産共計馬鈴しょ取扱要領について（前進栽培）
 - ⑨平成26年度事業報告及び収支決算状況について（貸借対照表・損益計算書）
 - ⑩平成26年度剰余金処分（案）について

創立60周年を祝う

北見市玉葱振興会（宮下尚樹会長）は2月6日に当JAセンター事務所2階大会議室で創立60周年記念式典を行い、生産者や関係者ら44人が出席しました。式典開催にあたり、同会の宮下会長は「先人や諸先輩方の玉葱栽培に対する思い・情熱を引き継ぎ、より一層努力していく」と挨拶。

会の発展に貢献した歴代会長の寺西武第5代会長、米森裕之第6代会長に感謝状が贈呈されました。寺西氏は「平成13、14年には2期連続で圃場廃棄をしなければならず、北見市玉葱振興会においても1年で90%減少した。みなさんご協力のおかげで加工対策が確立され、今日まで極端な低価格にはなっていない。ただ、一歩間違えると大変なことになるので、これからも頑張りたい」とこれまでを振り返り、同会のますますの発展に期待を寄せました。

北見市玉葱振興会 創立60周年



▲これまでを振り返り感謝を述べる寺西第5代会長

営業時間の変更のお知らせ

平成27年4月1日(水)~10月31日(土)

センター・地区事務所				
事務所	営業時間			
	平日	土曜日	日曜日	祝祭日
事務所	8:40~17:00	8:40~12:00	休み	休み
金融窓口	9:00~15:00	休み	休み	休み
(ATM)	9:00~18:00	9:00~14:00	休み	休み
共済窓口業務	9:00~15:00	休み	休み	休み

※事務所は第2・第4土曜日休業

資材店舗				
事務所	営業時間			
	平日	土曜日	日曜日	祝祭日
北見	8:40~17:00	8:40~12:00	休み	休み
温根湯	8:40~17:00	8:40~12:00	休み	休み
置戸	8:40~17:00	8:40~12:00	休み	休み
生産資材センター	8:40~17:00	8:40~12:00	休み*	休み

※置戸店舗は第2・第4土曜日休業
※生産資材拠点センターは*5/1以降8:40~17:00

給油所				
各給油所	営業時間			
	平日	土曜日	日曜日	祝祭日
各給油所	8:00~19:00	8:00~19:00	8:00~18:00	8:00~18:00

※訓子府・上常呂の給油所は日曜日休日
※端野給油所は第2日曜日のみ休日

整備工場				
事務所	営業時間			
	平日	土曜日	日曜日	祝祭日
北見	8:40~17:00	8:40~12:00	休み	休み
訓子府	8:40~17:00	8:40~12:00	休み	休み
端野	8:40~17:00	8:40~12:00	休み	休み

お詫びと訂正

先月号(145号)の「おひさまサラダ」で、誤りがありましたので、深くお詫びし、次のとおり訂正いたします。
・P2 季節の薫り (誤)小山勝則 ⇒(正)小山勇樹

新発売! 『玉ねぎと鶏もも肉の黒カレー』

3月13日(金)に新商品の「玉ねぎと鶏もも肉の黒カレー」を発売します! レトルトカレーでは5種類目のラインナップとなります。

「玉ねぎと鶏もも肉の黒カレー」の特徴は、名前の通り「黒い」カレーであること。よく炒めた玉ねぎとデミグラスソースが味の決め手のルウは、洋食屋のカレーのように濃厚な味わいで、ぷりぷりの鶏もも肉も入っています。また、辛さもしっかり効いているので大人の方でも満足いただける味です。

希望小売価格は480円(税抜)で、北見駅前パラボ・Aコープ・東武・イオン北見・一部店舗のビッグハウス及びスーパーアークスなどで販売します。組合員の皆様には後日取りまとめを行いますので、この機会に是非お召し上がりください。



JAきたみらいでは2月3日、当JA役員及びきたみらい馬鈴薯振興会と玉葱振興会の会長らが北見市・訓子府町・置戸町を訪れ、学校給食への食材提供として馬鈴薯2,310*と玉葱3,940*をパンフレットを添えて贈呈しました。

この活動は2010年から毎年行っており今年で6回目。今回新たに、JA名に「みらい」を冠した全国7JAが連携して話し合う「JAみらいサミット」に参加した縁で、JA津軽みらいからもリンゴ8,372玉が贈呈されました。

北見市役所での贈呈では、西川組合長は「おいしい食材で健康に育てほしい。給食を食べ地元農業に深い関心を寄せてもらえれば」と期待を寄せました。JA津軽みらいの山口岩光専務は「お家で話をしながらリンゴを食べてほしい」と話しました。

贈られた馬鈴薯、玉葱は2、3月中に保育園や小中学校の給食に使われ、リンゴは2月3、4日に保育園と小学校児童に1人1玉プレゼントされました。



▲写真説明

- ①(左から)馬鈴薯振興会の平川会長、玉葱振興会の小野会長、坂下専務、置戸町の和田副町長、井上町長
- ②(左から)小野会長、平川会長、坂下専務、大坪常務、訓子府町の林教育長、佐藤副町長
- ③(左から)西川組合長、JA津軽みらい山口専務、平川会長、北見市の櫻田市長
- ④届いたリンゴに大喜びの置戸町こどもセンターどんぐりのみんな

地区名	組合員戸数	出席人数	出席戸数	出席率
温根湯	74	32	28	37.8%
留辺蘂	35	27	16	45.7%
置戸	109	58	50	45.9%
訓子府	299	92	83	27.8%
相内	88	40	33	37.5%
上常呂	118	40	39	33.1%
北見	199	60	52	26.1%
端野	203	88	86	42.4%
計	1125	437	387	34.4%



▲88人が出席して行われた端野地区懇談会

2月9日から2月13日までの4日間、8会場においてJAの地区別懇談会が行われ、組合員と家族のみなさん437人が出席しました。

地域運営委員長の進行により、平成27年度の事業基本方針や部門別経営計画などを説明した後、ご来場のみなさんから数多くの活発な意見と質問を頂きました。

なお、懇談会で出された意見・要望などについては後日「Q&A」にてお知らせ致します。

食農教育に芋玉6・2トン を贈呈

JA津軽みらいからもリンゴ8,372玉

冬期地区別懇談会終える

8会場に437人出席



【材料：2人分】
 テンペ ……………2枚
 ネギ ……………1本
 シシトウ ……………6本
 ショウガ ……………1片
 赤ピーマン ……………1/2個
 焼きのり ……………1枚
 オリーブ油 ……………適量
 みりん・しょうゆ ……………各大さじ2
 ご飯 ……………2杯分

テンペのステーキ丼

【エネルギー約539kcal(1人分)】

【作り方】

- ①テンペは4つ切り、ネギは斜め切り、シシトウは1カ所に切り込みを入れ、ショウガは千切り、赤ピーマンは食べやすい大きさに切る。
- ②フライパンにオリーブ油を入れ熱し、テンペ、シシトウ、赤ピーマンを入れ焼く。シシトウ、赤ピーマンは焼けた物から取り出す。テンペは少し焦げ目をつける方がおいしいので、そのまま両面を返しながらかく焼く。
- ③②のフライパンの空いた部分にネギとショウガを入れて炒め、火が通ったらみりんとしょうゆを回し掛け、よくテンペに絡め合わせて火を止める。
- ④丼にご飯を盛り付け、のりをのせてからテンペと野菜を盛り合わせる。

メモ

テンペは大豆の発酵食品で、食物繊維などがいっぱい含まれています。発酵食品独特の粘りや香りもなく、便利な健康食品として注目されています。日持ちが長く、冷凍保存もできるので手元にあると便利な食材です。ポリウムもあるので野菜と合わせてカツリ丼でお召上がりください。

おひさまサラダ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥



【材料：2人分】
 カブ ……………2個
 生青のり ……………50g
 だし汁 ……………600ml
 本クズ ……………25g
 酒 ……………大さじ1
 しょうゆ ……………小さじ1
 塩 ……………適量

カブと生青のりのスープ

【エネルギー約73kcal(1人分)】

【作り方】

- ①カブは葉を切り落とし、皮をむく。
- ②だし汁を入れた鍋にカブを加え、軟らかくなるまで煮る。
- ③酒・しょうゆを加え、塩で味を調える。
- ④生青のりを入れ沸騰させてから、同量の水で溶いた本クズを鍋の中をかき混ぜながら加える。
- ⑤全体にとろみが出るまで混ぜ合わせて火を止める。
- ⑥器に盛り、カブの葉を添える。

メモ

丸ごと1個のカブと、香りの良い生の青のりで作るスープです。とろみとして使う本クズの生命力は強力で、漢方薬としても用いられています。体を温めてくれる優しいとろみ、ぜひお試しください。

編集後記

- ・特集で紹介した組合員三組織の総代会を含め、2月より新年度を迎えた各生産組織の総会、更には地区別懇談会、あるいは税申告。一段落する間もなく、「季節の薫り」で紹介した玉葱播種作業と、生産者みなさんの忙しさを感じる誌面となっています。
- ・そのようななか、各地域で見覚えのない顔がちらほら。今年就農した「ニューフェイス」が早くも始動している姿が見られました。
- ・寒さも緩み日々春の訪れを感じる今日この頃、私の周囲では再び風邪が流行しています。季節の変わり目ですので、みなさんも体調に十分気をつけて春作業に備えてください。(梅澤 大)

JAきたみらい概要

(平成27年2月15日現在)

- ・組合員数(正) 1,745人
- ・組合員数(准) 5,990人
- ・組合員戸数(正) 1,124戸
- ・貯金 104,020百万円
- ・貸出金 16,598百万円
- ・出資金 4,976百万円

発行 きたみらい農業協同組合
 〒090-0813 北海道北見市中ノ島町1丁目1番8号
 TEL0157-32-8777(4)

責任者/西川孝範

編集者/宮農振興部:企画振興グループ